

# 福山市廃棄物減量等推進審議会

## 資 料

2008年（平成20年）8月19日（火）

福 山 市

## 目 次

(1) 2007年度（平成19年度）ごみ排出量等について	・・・	1
(2) 2008年度（平成20年度）の主要施策の概要について	・・・	5
① エコでえ～ことキャンペーンの実施について	・・・	7
② 紙ごみの拠点回収について	・・・	8
③ 年度末・年度始めの休日ごみ受入の実施結果について	・・・	9
④ その他	・・・	10

(1) 2007年度(平成19年度)ごみ排出量等について

①ごみ排出量について

ア ごみ排出量実績

	合計		家庭系ごみ計		直営		委託		事業系ごみ計				許可	自己		
	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)			2006(H18)	2007(H19)
	合計	173,077	167,499	122,500	116,313	70,998	65,707	51,502	50,606	50,577	51,186	44,289			45,518	6,288
可燃	141,282	139,621	97,935	95,055	58,406	55,342	39,529	39,713	43,347	44,566	39,945	41,361	3,402	3,205		
資源	8,998	7,915	7,301	6,359	3,627	3,004	3,674	3,355	1,697	1,556	1,618	1,482	79	74		
プラスチック	8,919	7,504	8,732	7,423	4,412	3,552	4,320	3,871	187	81	117	63	70	18		
不燃破砕	9,042	8,037	6,667	5,773	3,418	2,850	3,249	2,923	2,375	2,264	1,393	1,407	982	857		
可燃粗大	4,836	4,422	1,865	1,703	1,135	959	730	744	2,971	2,719	1,216	1,205	1,755	1,514		

(単位：t)

イ 2007年度(平成19年度)・2006年度(平成18年度)ごみ排出増減量

(単位：t)

	合計		家庭系ごみ計		直営		委託		事業系ごみ計				許可	自己
	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)		
合計	▲ 5,578	▲ 6,187	▲ 5,291	▲ 896	▲ 609	▲ 620	▲ 620	▲ 620	▲ 620	▲ 620	▲ 620	▲ 620	▲ 620	▲ 620
可燃	▲ 1,661	▲ 2,880	▲ 3,064	184	1,219	▲ 197	▲ 197	▲ 197	▲ 197	▲ 197	▲ 197	▲ 197	▲ 197	▲ 197
資源	▲ 1,083	▲ 942	▲ 623	▲ 319	▲ 141	▲ 5	▲ 5	▲ 5	▲ 5	▲ 5	▲ 5	▲ 5	▲ 5	▲ 5
プラスチック	▲ 1,415	▲ 1,309	▲ 860	▲ 449	▲ 106	▲ 52	▲ 52	▲ 52	▲ 52	▲ 52	▲ 52	▲ 52	▲ 52	▲ 52
不燃破砕	▲ 1,005	▲ 894	▲ 568	▲ 326	▲ 111	▲ 125	▲ 125	▲ 125	▲ 125	▲ 125	▲ 125	▲ 125	▲ 125	▲ 125
可燃粗大	▲ 414	▲ 162	▲ 176	14	▲ 252	▲ 241	▲ 241	▲ 241	▲ 241	▲ 241	▲ 241	▲ 241	▲ 241	▲ 241

ウ 施設搬入量

施設	合計		中間処理施設から		焼却灰		町内清掃士等 公共事業残土	
	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)
可燃	139,621	83,919	83,919	83,919	32,117	32,117	3,454	7,216
可燃粗大	4,422	4,415	4,415	4,415	-	-	1,810	587
合計	144,043	88,334	88,334	88,334	32,117	32,117	5,264	7,803

(単位：t)

エ 埋立処分量

施設	合計		中間処理施設から		焼却灰		町内清掃士等 公共事業残土	
	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)	2006(H18)	2007(H19)
可燃	139,621	83,919	83,919	83,919	32,117	32,117	3,454	7,216
可燃粗大	4,422	4,415	4,415	4,415	-	-	1,810	587
合計	144,043	88,334	88,334	88,334	32,117	32,117	5,264	7,803

(単位：t)

オごみ排出量の推移

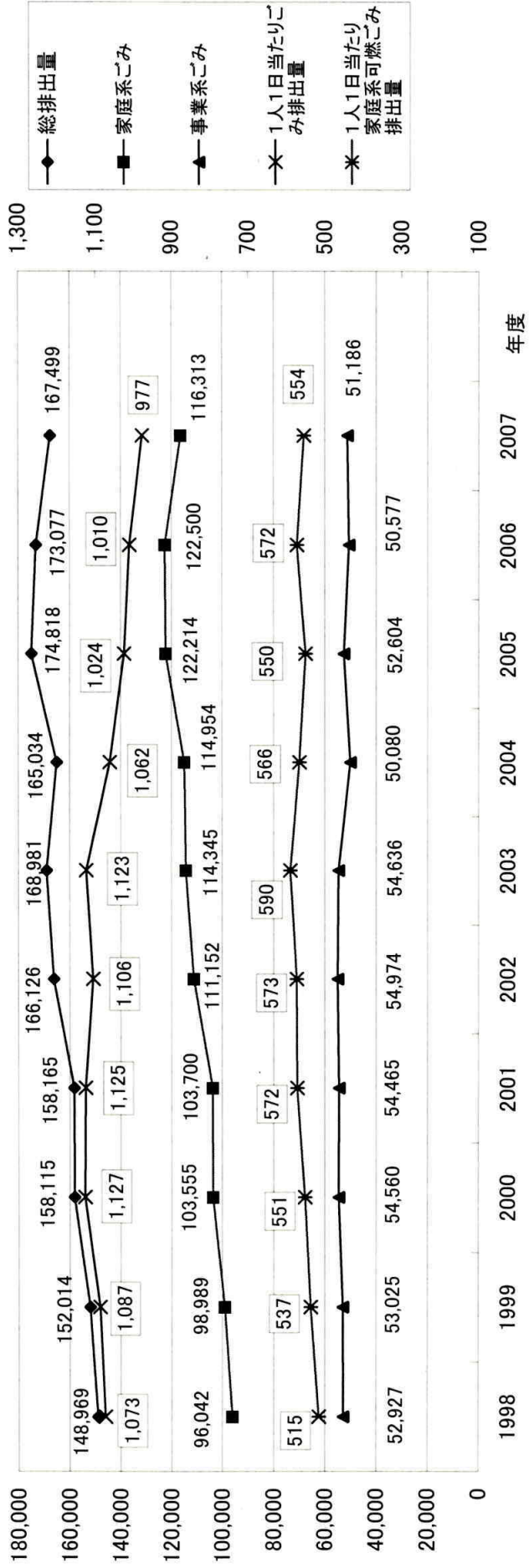
年度	合計	増減量	家庭系ごみ			事業系ごみ			粗大		
			小計	可燃	資源	不燃	小計	可燃		資源	
1998(H10)	148,969	4,560	96,042	71,839	7,871	12,965	3,367	3,367	9,697	1,343	
1999(H11)	152,014	3,045	98,989	75,029	7,312	13,230	3,418	3,418	10,528	977	
年度	合計	増減量	小計	可燃	資源	プラスチック	不燃破砕	可燃粗大	プラスチック	不燃破砕	可燃粗大
2000(H12)	158,115	6,101	103,555	77,402	7,375	5,362	12,908	508	1,287	6,990	2,075
2001(H13)	158,165	50	103,700	80,329	7,189	9,408	5,469	1,305	1,955	2,064	3,248
2002(H14)	166,126	7,961	111,152	86,065	7,654	10,020	6,096	1,317	1,793	2,177	2,489
2003(H15)	168,981	2,855	114,345	88,686	7,111	10,427	6,785	1,336	1,910	2,375	2,586
2004(H16)	165,034	▲ 3,947	114,954	87,949	7,391	11,125	6,912	1,577	2,430	2,206	2,900
2005(H17)	174,818	9,784	122,214	93,888	7,772	11,855	7,206	1,493	2,433	2,361	2,613
2006(H18)	173,077	▲ 1,741	122,500	97,935	7,301	8,732	6,667	1,865	187	2,375	2,971
2007(H19)	167,499	▲ 5,578	116,313	95,055	6,359	7,423	5,773	1,703	81	2,264	2,719

(単位：t)

福山市ごみ排出量及び1人1日当たりごみ排出量

(トン)

(グラム)



カ リサイクル率（一般廃棄物処理事業実態調査から）

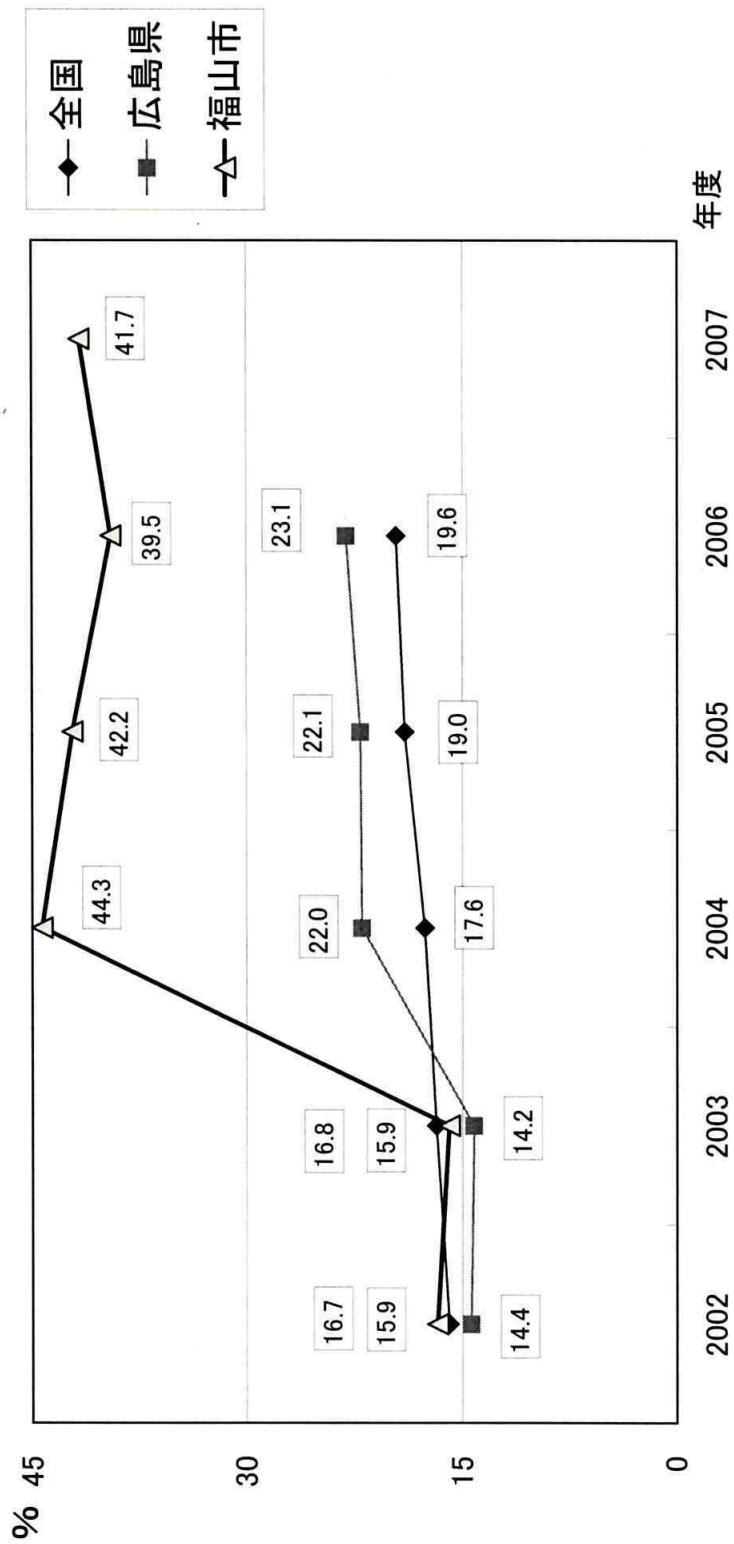
(単位: %)

年度	2002 H14	2003 H15	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19
全国	15.9	16.8	17.6	19.0	19.6	
広島県	14.4	14.2	22.0	22.1	23.1	
福山市	16.7	15.9	44.3	42.2	39.5	41.7

リサイクル率 (%)

(ごみの資源化量+集団回収量) / (ごみの資源化量+集団回収量+集団回収量)

(リサイクル率について、2004年度(平成16年度)からRDFを資源化量に含む)





② ごみ減量化に係る補助金について

ア 資源回収推進団体補助金交付実績  
(単位:kg, 円)

区分 年度	2003(H15)年度	2004(H16)年度	2005(H17)年度	2006(H18)年度	2007(H19)年度
合計	8,596,617	9,237,692	9,667,913	11,216,177	11,286,513
古紙類	8,173,741	8,815,301	9,215,908	10,776,071	10,838,113
繊維類	106,457	100,751	89,707	96,656	72,265
金属類	240,788	273,395	318,538	291,538	327,001
ビン類等	75,631	48,245	43,760	51,912	49,134
補助額	67,624,916	73,901,536	77,343,304	89,729,416	90,292,104
売上額	15,869,412	27,422,451	33,741,832	51,485,670	72,643,693

イ 資源回収推進団体補助金交付団体内訳  
(単位:団体)

区分 年度	2003(H15)年度	2004(H16)年度	2005(H17)年度	2006(H18)年度	2007(H19)年度
合計	507	518	527	621	645
子ども会	266	261	256	308	317
町内会	119	138	144	164	180
保護者会	68	71	74	84	88
女性会	44	38	39	47	41
老人会	10	10	14	18	19

ウ 資源回収業者補助金交付実績  
(単位:業者, kg, 円)

区分 年度	2003(H15)年度	2004(H16)年度	2005(H17)年度	2006(H18)年度	2007(H19)年度
交付業者数	18	18	18	20	20
重量計	6,519,591	7,017,067	7,177,711	7,662,993	7,312,314
補助額	19,544,000	13,997,000	7,160,000	7,645,000	7,291,000

エ 生ごみ処理容器設置補助金交付実績  
(単位:基, 円)

区分 年度	2003(H15)年度	2004(H16)年度	2005(H17)年度	2006(H18)年度	2007(H19)年度
合計	737	529	481	424	381
コンポスト	158	142	146	143	168
加熱式等	579	387	335	281	213
補助額	9,113,100	6,832,600	5,483,500	4,606,000	3,840,800

(2) 2008年度(平成20年度)の主要施策の概要について

概 要	備 考
<p>温暖化対策事業</p> <p>わが国は、2008年度(平成20年度)より「京都議定書」の第一約束期間が始まり、温室効果ガスの削減義務が生じることとなっている。こうしたことから、市民や中小事業者が行う二酸化炭素や廃棄物削減等の環境への取組の支援を行う。</p> <p>また、本市も国際標準環境規格(ISO14001)の認証拡大へ取組む。</p> <p>(1) ふくやま環境賞</p> <p>「ふくやま環境賞」を創設し、地球温暖化防止活動や3R推進活動などに積極的に取り組んでいる市民、事業者、団体並びに優良ごみステーションについて表彰する。</p> <p>(2) ふくやまエコファミリー認定制度</p> <p>家庭でのライフスタイルを見直し、電気、ガス、水道等の使用量削減に積極的に取り組むエコファミリー(家族)を認定する。</p> <p>(3) エコでえ〜ことキャンペーン</p> <p>「エコでえ〜ことキャンペーン」をごみゼロの日(5月30日)から3R推進月間の10月までの5ヶ月間継続的な取組として実施する。誰でもできる身近な活動を通じ、環境意識の向上を図り、環境にやさしい生活スタイルを推進する。</p> <p>(4) 環境規格認証取得費補助</p> <p>中小事業者を対象に国際標準環境規格(ISO14001)、エコアクション21の認証取得に対し助成を行う。</p>	<p>P.10</p> <p>別紙 ・ふくやまエコファミリー認定制度啓発チラシ</p> <p>P.7 別紙 ・エコでえ〜ことキャンペーンポスター、応募カード</p> <p>別紙 ・福山市ISO14001及びエコアクション21認定取得費補助事業の概要</p>

概 要	備 考
<p>汚泥再生処理施設建設</p> <p>市内6箇所のし尿処理施設のうち、老朽化が特に著しい新浜処理場、新市し尿処理場、深品し尿処理場の3施設について、経済性や効率性を考慮し、広域的な処理施設整備の基本設計を行う。</p> <p>ごみ減量対策事業</p> <p>「ごみ減量大作戦」も5年目を迎え、引き続き一層のごみ減量対策に努め、資源循環型社会の構築を目指すための取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の各種団体で実施している資源化の取組について、自治会（町内会）等地域の民主団体と連携を深める中で、充実拡大に努める。</li> <li>・事業所から排出される、リサイクルできる紙類の市の処理施設での受入を引き続き制限する。</li> <li>・多量排出事業所に対しては、減量計画書の提出を求め、ごみ減量についての研修会の開催や指導を徹底する。</li> <li>・紙ごみの拠点回収について、エコショップ協議会に加え、環境部各環境センターへの紙ごみの持込を推進する。</li> </ul> <p>不法投棄対策事業</p> <p>不法投棄の未然防止及び環境保全のため、定期的なパトロールの実施や自治会（町内会）、市内郵便局・JA等からの情報提供により、引き続き、不法投棄の未然防止と迅速な対応に努める。</p> <p>さらに、これまで設置した不法投棄防止機器の活用や、機器の増設を行い、不法投棄の未然防止に努める。</p> <p>また、「ごみ不法投棄監視ウィーク」の取組や、県・県警・第六管区海上保安本部と連携した、スカイパトロール・シーパトロールを引き続き実施するとともに、近隣市町・警察署・国の関係機関などで組織している「福山地域廃棄物不法投棄防止連絡協議会」を通じて、情報の早期把握に努める。</p>	<p>P. 8</p>



## ① エコでえ〜ことキャンペーンの実施について

### ア 趣旨

レジ袋等の削減や環境美化活動、環境学習会への参加などを通して、環境意識の向上や環境にやさしい生活スタイルをめざすことにより、ごみの減量、地球環境の保全や循環型社会の形成を推進する。

### イ 実施内容

- ・ キャンペーン参加店舗（約680店舗）で、商品購入時マイバッグ等を利用し、レジ袋等の削減に協力
- ・ エコショップ協議会が実施する「紙ごみ拠点回収」への参加・協力
- ・ 本市が指定する環境美化活動、環境学習会への参加・協力等の取組を実施された方にエコシールを配布する。エコシールを応募カードに貼付し、希望するコースにより抽選で景品の交付等を行う。

#### Aコース（エコシール30枚）

- 特賞 旅行券（5万円）・・・ 2名（前期・後期各 1名）
- 1等 旅行券（2万円）・・・ 10名（前期・後期各 5名）
- 2等 図書カード（5千円）・・・ 40名（前期・後期各20名）
- 3等 図書カード（1千円）・・・ 100名（前期・後期各50名）

#### Bコース（エコシール20枚）

- 特別賞 ふくやまSUN（福山ブランド農産物）  
前期：ぶどう40本  
後期：くわい40本

#### Cコース（エコシール10枚）

- 協賛賞 協力店からの提供商品

#### Dコース（エコシール10枚～もれなく）

次の施設の利用ができる。

- ・ 30枚・・・ローズアリーナ（プール入場無料）6月15日～9月15日
- ・ 10枚・・・市立動物園（入場無料）など

### ウ 実施期間

2008年（平成20年）5月30日（金）～10月31日（金）  
抽選は前半、後半の2回実施

### エ 応募件数見込み

200,000件（10枚コース換算）

### オ 期間中のレジ袋削減効果見込み

削減レジ袋数 2,800,000枚（二酸化炭素削減量133.7トン）  
削減重量 約28トン

## ② 紙ごみの拠点回収について

環境部各事業所及び処理施設での回収実績

期 間 2007年（平成19年）6月から2008年（平成20年）3月

事業所名等	回 収 品 目 (kg)			合計 (kg)
	新 聞	雑 誌	ダンボール	
南 部 事 業 所	140,070	96,630	24,070	260,770
松 永 事 業 所	32,840	26,730	6,200	65,770
北 部 事 業 所	12,310	9,750	6,400	28,460
東 部 事 業 所	133,230	60,010	42,230	235,470
新 市 事 業 所	17,820	13,140	0	30,960
神 辺 事 業 所	2,130	1,470	300	3,900
全 事 業 所 計	338,400	207,730	79,200	625,330
ごみ固形燃料工場 等	120,070	112,760	31,580	264,410
合 計	458,470	320,490	110,780	889,740

### 【参考】

エコショップ協議会による拠点回収実績

期 間 2007年（平成19年）4月から2008年（平成20年）3月

場 所 ハローズ 南松永店・新涯店・東福山店・駅家モール店

実 施 店	回 収 品 目 (kg)				合 計 (kg)	参加人数 (人)
	新聞	雑誌	ダンボール	牛乳パック		
南 松 永 店	13,860	11,100	3,620	54	28,634	972
新 涯 店	33,050	21,928	5,823	159	60,960	2,486
東 福 山 店	22,430	15,710	3,879	111	42,130	1,488
駅家モール店	31,420	20,040	6,055	154	57,669	1,990
合 計	100,760	68,778	19,377	478	189,393	6,936

③ 年度末・年度始めの休日ごみ受入の実施結果について

ア 実施予定日及び受入時間

2008年（平成20年）

3月29日（土）、3月30日（日）、4月5日（土）、4月6日（日）

受入時間 午前8時45分～午後5時00分

イ 実施状況

受入量 延634台 203トン

内訳 燃やせるごみ 271台 160トン

不燃・粗大ごみ等 363台 43トン

ウ 受入施設及び受入ごみ量

（単位：トン）

受入施設	重量
ごみ固形燃料工場	124
西部清掃工場	24
新市クリーンセンター	6
深品クリーンセンター	6
燃やせるごみ計	160
リサイクル工場	38
箕沖埋立地	
慶応浜埋立地	5
不燃・粗大ごみ等計	43
合計	203

#### ④ その他

##### ア ふくやま環境賞の創設

地球温暖化防止活動や3R推進活動などに積極的に取り組んでいる市民、事業者、団体並びに優良ごみステーションについて表彰する。

- ・ 3R推進活動

環境美化活動やごみ減量・リサイクル活動に取り組んでいる団体等や事業所等の多量排出事業者を対象に減量計画書に基づき、分別・リサイクル等に取り組む事業者を表彰。

- ・ 優良ごみステーション

町内等で設置されているごみステーションについて、分別・排出状況が良好で、散乱防止・清掃がなされ清潔に保たれているステーションを表彰。

##### イ 環境イメージキャラクターの作成

環境をより身近に、かつ効果的に環境事業を展開するため、福山にちなんだ動植物、特産物、自然などをいかした環境に関するキャラクターを市民から募集した。応募作品196点の中から選考したところ、福山市内の中学2年生がくわいをモチーフにして描いた作品「くわいちゃん」が選ばれた。環境施策の効果的な推進に向け、ポスターやパンフレット等に活用し、紙面やイベント等で周知しながら、環境啓発を行っている。

##### ウ 塵芥収集車のナンバープレートを530（ごみゼロ）に変更

ごみ減量に向けた身近な取組の一環として環境部各環境センターが所有する塵芥収集車43台のナンバーを530（ごみゼロ）に統一し、市民の目に触れることで、視覚による効果的な啓発に努めている。

##### エ ハイブリッド塵芥収集車の購入

ハイブリッド車は、ディーゼルエンジンと電気モーターで走り、一般のディーゼル車に比べ二酸化炭素の排出量が25%削減されることから環境にやさしいうえ、燃費も30%向上することから、一般車両よりも燃料費の軽減が図れる経済的な利点もある。また、環境省より普通車とハイブリッド車の差額の2分の1が補助されるので、今年度、計4台のハイブリッド塵芥収集車（2t車）を各環境センターに配置する。



## オ ごみ分別の変更

車両火災が不燃（破碎）ごみの日に頻発している事態を受け、車両火災の主な原因と考えられ、従来から不燃（破碎）ごみとして収集していた石油ストーブ、石油ファンヒーターを資源ごみ、使い捨てライターを燃やせる粗大ごみの日にそれぞれ分別変更を行った。